

H26年度 東北ブロック
がん地域相談支援フォーラム

地域で医療ニーズが高いがん患者の療養生活を
支える訪問看護

柴田・角田地域訪問看護ステーション

渋谷 幸江





事例紹介

- Kさん 78歳 男性
 奥様 長男夫婦と同居
- 病名 肺がん 多発脳転移
- 1月20日 訪問看護開始 在宅酸素療法
 膀胱留置カテーテル ストマケア
 褥瘡処置
- 3月26日 病院へ救急搬送
- 4月3日 病院で死亡

- 4月23日 グリーフケア
 「この2カ月間は、ずっと一緒にいること
 ができて充実した日々でした」



- Sさん 63歳 女性 独居
- 病名 虫垂がん 卵巣転移 膀胱浸潤
右水腎症 がん性腹膜炎 腫瘍熱
重度貧血 在宅酸素療法
2Fが居住空間 5/22退院調整会議
- 5月27日 病院退院 訪問看護開始
現在も療養中
「私はここから、夫のもとに行きます」



看取りの準備

- 社会的な準備

- 心の準備



グリーフケアが大事

グリーフとは

深い悲しみ**悲嘆**を意味する(英)

悲嘆ケア、遺族ケア
悲しみに寄り添うケア



<今回フォーラムのお話を
いただいて考えた事>

がん相談支援センターの

知名度が低いのでは

ないでしょうか



ご静聴ありがとうございました

